

訪問ガイド 2026

ストーンヘンジ

サリーズベリー · から 32.58€

https://stonehenge.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット＆料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

四千年の謎

GOOGLE 4.5 ★★★★☆ 68 828 レビュー

TIQETS 4.5 ★★★★☆ 1 273 レビュー

ウィルトシャー州に位置するストーンヘンジは、単なる石の集積物ではなく、人間の知恵と工夫を物語る魅力的な証です。 紀元前**3000**年から紀元前**1100**年 J. - C.、この巨石記念碑は、新石器時代から青銅器時代への移行を象徴する5つの明確な段階を経て建設されました。 各追加段階は、この開けた平野に居住した先史社会の文化的・技術的変遷を反映している。 この場所の語源そのものが、歴史学者の間で今なお熱い議論を呼んでいる。 「ヘンジ」という用語は、ストーンヘンジから逆説的に派生したものであり、現在では円形記念物の特定の分類を指す。 しかし、ストーンヘンジは他の指定された遺跡とは異なり、土塁が堀の内側に位置しているため、特異な存在と見なされています。 この建築的特徴と、その威厳あるトリリトンの組み合わせにより、ヨーロッパ考古学において唯一無二の事例となっている。 これらの巨大なブロックを組み立てるために用いられた工法は、今なお驚異的である。 高さ7メートルを超えるトリリトスは、複雑な「ほぞと穴」の技術によって支えられています。 この新石器時代的な精密さは、風と世紀に耐え続ける構造の安定性を可能にした。 ウェールズから長距離にわたって運ばれてきた青い石は、全体に神秘的な次元を加え、遠隔の儀式や交易を示唆している。 アベベリーとともにユネスコ世界遺産に登録されているこの遺跡は、年間約100万人の訪問者を惹きつけています。 1901年にガウランド教授によって開始された科学的な発掘調査により、その場所の年代順序をよりよく理解することが可能となった。 今日、スカイスケープのような現代技術のおかげで、おそらく古代の儀式を導いていた至点時の天体配置を視覚化することができます。

体験

シャトルを降りた瞬間、あるいは25分の歩行を開始した途端、雰囲気が劇的に変わります。 ウィルトシャーの平原が眼前に広がり、絶えず吹き抜ける風が風景を彫り刻んだかのような景観を呈している。 巨石への段階的な接近は、歴史的な予感と荒々しい自然の美しさを融合させ、手に届きそうなほどの緊張感を生み出している。 それは、現代の時間が消え去る、瞑想的な静寂の一瞬である。 サーセン石の円環に到着すると、その巨大な巨石が想像力を打ち抜く。太陽の光が梁を透過し、影と戯れながら、時間帯によって目を奪われるような視覚効果を生み出します。 あなたは単に岩々を見ているのではありません。天体の運行に合わせて整えられた宇宙の建築を目撃しているのです。 感情は高ぶる。約五千年前にこれらの石の巨人を築いた祖先たちとの直接的なつながりを感じている。



訪問の準備

実用的な情報

住所

ウィルトシャー州、イギリス·駐車場からシャトルバスで直接アクセス可能、または平原を歩いて約25分。

開園時間

毎日開園しています。時間帯は季節によって異なります。正確な入場時間はEnglish Heritageのチケットでご確認ください。

料金

年齢に応じた無料子ども券あり（バリエーションを確認してください）。{promo}。

所要時間

最低でも 2〜3時間確保し、博物館、シャトルバス、巨石周遊コースをゆっくりと楽しみましょう。この時間なら、先史時代の歴史に関する常設展示も十分に鑑賞できます。

写真撮影

フラッシュなしでの撮影はどこでも許可されていますが、円陣内ではフラッシュ禁止です。ドローンは、サイトの静寂を守るため、特別な許可がない限り禁止されています。

対象者

ご家族連れや歴史愛好家の方に最適です。芝生の広大な敷地のため、歩きやすい靴と防水ウェアが必要です。雨上がりは地面が滑りやすいためご注意ください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

バス

: ダウン — 3 min à pied

サリーズベリー鉄道駅 (57 min) · サウサンプトン空港 (174 min)

車

Salisbury Railway Station (44 min) · サウサンプトン空港 (141 min)

自転車

Salisbury Railway Station (58 min) · サウサンプトン空港 (193 min)

LOCALISATION

Où se trouve ストーンヘンジ ?



📍 Amesbury — SP4 7DE サリーズベリー

🌐 51°10.733′ N, 1°49.573′ O



組織

ネオリスティック没入体験の準備

受付センターと博物館

ご見学は、駐車場付近にあるモダンな受付センターから始まります。インタラクティブな博物館では、発掘された主要な考古学的発見や、現地で見つかった遺物などが展示されています。没入型スクリーンでは、記念碑の建設過程を段階的に再現しています。出発前に無料オーディオガイドをダウンロードするには、最適な場所です。

外部ルート（徒歩またはシャトルバス）

モニュメントまでは無料シャトルバス、または25分の草の生い茂った小道を歩いてアクセスできます。このアプローチはウィルトシャー平原を横切り、野生の風景を初めて目にすることができます。サイトの孤立感と雰囲気への段階的な没入を味わいたい方には、徒歩での移動が推奨されます。

石の円環

エクスペリエンスの中心部では、巨石群の周りに整備されたエリアにアクセスできます。サーセンストーンとブルーストーンの間を自由に移動できますが、表面に触れないというルールを守ってください。ここは特に分至の際に、至日のアライメントがその真の意味を持つ場所です。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス
フラットな通路と対応シャトルにより、移動の自由な方々もスムーズにアクセスできます。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け
復元展示を備えた遊び心のあるコースで、古代史に興味があるお子様にも最適です。

🎧 オーディオガイド
フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

メガリシックな奇跡

01 外側の円環

サーセン・トリリトス

5組の巨大な柱と楣（lintel）で構成される中央の蹄鉄形構造。ほぞと穴による組み立ては、新石器時代における卓越した工学技術を示しています。4000年以上にわたり安定性を保つ精密な継ぎ目を観察してください。これはこの遺跡で最も象徴的かつ撮影されている要素です。

> 💡 これらの砂岩ブロックはそれぞれ約25トンもあり、当時としては途方もない物流上の課題でした。

02 内側の円

青い石

これらのディオライトは小さく、色が暗く、おそらくウェールズから運ばれてきたものです。その存在は、治癒に関連する交易や儀式を示唆しています。これらは内側の円と蹄鉄の一部を形成しており、遠方からの由来がモニュメントに霊的な神秘の層を加えています。

> 💡 一部の理論では、それらが特定の音響的または医療的特性を持っていたとされています。

03 記念碑的な大通り

タロンストーン（ヒールストーン）

大通りの入口に位置するこの孤立した石は、至日の軸を示しています。夏至の日の出の際、光はこの石とモニュメントの中心の間を正確に通ります。これはストーンヘンジの天文学的方位を理解するための重要なポイントです。季節のピーク時間帯には、ぜひここで位置取りましょう。

> 💡 数世紀にわたり、正確な整列を維持するために何度も再直立させられました。

04 外周部

オブリーの穴

地面に掘られた56個の円形に配置された穴で、ジョン・オブリーの名にちなんで名付けられました。これらの穴は、木製の柱や一時的な石を支えるために使われた可能性があります。その規則的な配置は、儀礼的機能について考古学者を困惑させています。これらは、恒久的な巨石が追加される前の元の構造を具現化しています。

> 💡 これらの穴の一部から人骨が発見されており、埋葬慣習を示唆しています。

05 蹄鉄形の中心部

祭壇の石

モニュメントの真ん中に平置きされた大きな長方形の石。その正確な機能については議論が続いており、犠牲の祭壇か、供え物の台か、それとも単なる建築要素なのか。全体象徴的な焦点を形成しており、その中央位置はサイト中心部の儀礼的重要性を強調している。

> 💡 わずかに異なる二つの半分で構成されており、古代の修復を示唆している。

06 メインアクセス

記念碑通り

アヴォン川へ続く3キロメートルの長い行列道。かつては溝と土手によって両側が囲まれていましたが、現在は消滅し、探査によってのみ確認可能です。この道は行列を記念碑へと導き、到着時の劇的な効果を高めていました。ストーンヘンジをより広範な聖なる景観と結びつけています。

> 💡 この道の沿いには墓塚が並んでおり、亡者をあの世へと伴っていました。

07 最適な視点

至日の眺め

ヘンジャー・ストーン（ヒールストーン）の背後に立ち、夏至の日の出を観察してください。光は石の間から差し込み、遺跡の中心部を照らします。この年一度のイベントには何千人もの観客が訪れ、この場所での最も劇的な体験となっています。この独特な自然現象を体験できるよう、訪問計画を立ててください。

> 💡 古代の人々は、この整列を利用して農業暦を調整していたと考えられています。

08 受付センター

対話型博物館

円形構造物に入る前に、博物館では建設段階の3D復元と詳細な解説を提供しています。最近の発見や現在の理論を文脈化しており、実際の現場を見る前にその複雑さを理解するために不可欠です。子どもたちは特に触覚アニメーションを楽しんでいます。

> 💡 この博物館では、新石器時代の建設者たちの日常生活の遺跡も展示されています。

アドバイス

訪問を最大限に活かす

タイミング

English Heritageを通じて、日付付きの時間帯を必ず予約してください。チケットはすぐに売り切れることが多く、特に至陽点や夏などの混雑期には注意が必要です。チケットに記載された季節ごとの営業時間の変動を確認してください。

入場券

大人料金は約32.58ユーロです。年齢に応じて、子どもは無料入場できる場合があります。訪問前にEnglish Heritageの無料オーディオガイドをダウンロードし、追加費用なしで体験を豊かにしてください。

散策ルート

25分の徒歩または無料シャトルバスからお選びください。徒歩では、野生の風景に徐々に没入する体験が得られますが、時間がない場合や身体的な制約がある場合は、シャトルバスが最適です。チケットに記載された時刻を厳守してください。

写真

フラッシュは円形区域内でのみ禁止されており、その他の場所では撮影が許可されています。ドローン飛行には特別な許可が必要です。至適な冬至の天体配置を捉えるためのベストアングルは、天体の動きをシミュレートするアプリ「Skyscape」で確認できます。

休憩

メガリト（巨石）周辺のコース、博物館、シャトルバスを急がずに楽しむには、最低でも2〜3時間を確保してください。サイト自体には大規模な飲食施設がないため、訪問の前または後にエイムズベリーで昼食をとることをお勧めします。

子ども

当施設は、ベビーカーや車椅子に対応した整備された通路を備えており、家族連れに最適です。古代史に興味を持つ好奇心旺盛な子どもたちの注意を引きつけるために、博物館内には歴史的再現展示を含む遊び心あふれる見学コースが設けられています。

オーディオガイド

English Heritageの無料オーディオツアー（フランス語、英語、スペイン語対応）をご利用ください。このツアーは散策を大きく豊かにし、アライメントの微妙な点についても解説します。さらに、Skyscapeアプリを活用して太陽と月の変化を視覚的に確認できます。

快適さ

地面が滑りやすく風も強いため、履き心地の良い靴と防水性のある服装をおすすめします。ウィルトシャーでは天候が急変しやすいため、一年中追加の防寒着（重ね着）が推奨されます。受付センターには安全なロッカーが利用可能です。



よくある質問

よくある質問

事前予約は必須ですか？

はい、混雑調整のため日付指定の時間枠の予約がEnglish Heritage経由で必須です。具体的なチケットをお持ちでない場合、ストーンサークルへの入場が拒否される可能性があります。確実な入場を保証するため、販売開始と同時に予約することをお勧めします。

購入後に時間枠を変更できますか？

変更は最終決済前に表示された条件に依存します。公式ポータルに空きがある場合、日付の変更が可能であることがよくあります。注文時に選択したプランの柔軟性を必ずご確認ください。

現在プロモーションはありますか？

公式サイトでは定期的に季節限定オファーが表示されます。冬などの閑散期を狙うことで、割引料金やファミリー向けパッケージを見つけることができます。一時的なこれらの機会を逃さないよう、ニュースレターに登録しましょう。

チケットで博物館に入れますか？

はい、標準チケットには完全なアクセス権が含まれています。現代的なウェルカムセンターとその考古学博物館に入場できます。ここには、巨石へ向かう前の復元模型や背景説明があります。この屋内部分には少なくとも1時間を確保してください。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

完全な没入体験には約2〜3時間かかります。これには博物館での閲覧時間、サイトへのシャトルバスまたは徒歩移動、そして巨石円陣の探検が含まれます。お子様連れのご家族はさらに時間がかかる場合があります。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

語源が議論されている

ストーンヘンジという名前は中世にまで遡って記録されている。ある解釈では「吊り下げられた石」、別の解釈では「絞首台」と見なされる。この曖昧さは、10世紀からサリズベリー近郊のこれらの奇妙な構造を旅人がすでに記述していたことから、中世におけるこの遺跡の認識を反映している。

非典型的ヘンジ

他のヘンジとは異なり、ストーンヘンジには外側ではなく内側に土塁が設けられている。この建築的特徴と、その威厳あるトリリトンの組み合わせにより、イギリスの巨石記念物の考古学的分類において完全に非典型的な遺跡となっている。

先駆的な発掘調査

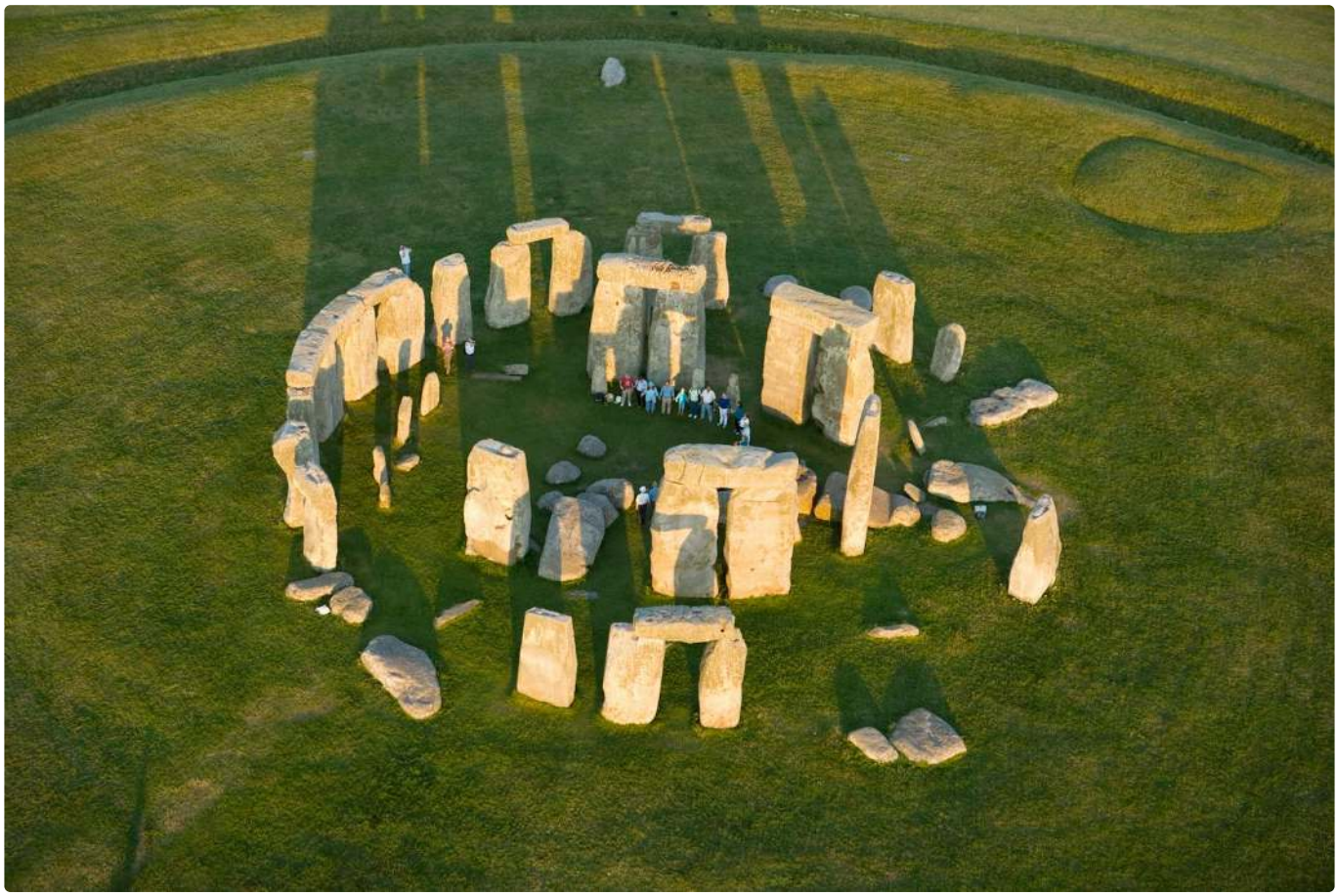
最初の科学的な発掘調査は、ゴーランド教授の指揮のもと1901年に実施されました。その後、20世紀には、時を経て脆弱化した構造を安定化させるため、ホーリー大佐やリチャード・アトキンスンらによる大規模な修復作業が続けられました。

天文学的整列

この遺跡は、夏至の日の出と冬至の日の入りの方角に正確に向いている。この方位設定は偶然ではなく、新石器時代の建造者が当時としては驚くべき精度で天体観測を掌握していたことを示している。

博物館周辺

過去の没入体験の後、サリーバリーの街は完璧な対比を提供します。 数キロメートル先に位置するその大聖堂には、ヨーロッパで最も高い中世の鐘楼がそびえ立ち、地域全体を一望できるパノラマビューを提供しています。 ごちそうのひとときをお楽しみになりたい方は、風光明媚な村であるエムズベリーへお越しください。強風の中を歩いた後、地元のレストランではイギリスの伝統的な家庭料理が味わえます。 時間に余裕があれば、ユネスコ世界遺産にも指定されている近隣のアベベリー遺跡を訪れることで、本物の田園風景の中でストーンサークル（ヘンジ）についてより深く理解を深めることができます。 これらの補完的な場所は、イギリスの先史遺産を発見する体験を大幅に豊かにしています。



ストーンヘンジを訪れることは、時間のスケールに飲み込まれることを受け入れることである。 これは単なる観光旅行ではなく、私たちの文明の起源への知的な巡礼である。 歴史に情熱を注ぐ方でも、単なる好奇心から訪れる方でも、このサイトは唯一無二の感覚体験を提供します。 ウィルトシャーの広大な空の下、科学と神話が出会う場所、見えないものに触れたという確信を胸に、旅を終えてください。